

フタムラ化学跡地をどのように活用したいか

公益的な利用も考慮し、市全体のにぎわい創出につなげたい

一問一答方式



廣中 清介 議員
市民クラブ

■フタムラ化学跡地活用について

問 民間の事業提案募集を見送った経緯は。

答 田原市街地まちづくり会議などが求める施設と、事業者が想定する施設との間にギャップがあり、時間をかけて計画内容の見直し検討を行うべきと判断し見送った。

問 まちづくり会議が提出した「フタムラ化学跡地活用方針に対する提言」の今後の取り扱いは。

答 提言は市民の生の声であり、今後も内容を考慮し、さらに意見をいただき、跡地活用を検討する。

問 中心市街地活性化基本計画（※）の策定状況は。

答 活性化の4本柱（市街地整備・都市福利施設整備・街なか居住・商業活性化）に沿って、基本計画に位置付けられる事業メニューを拾い出している。

問 計画（※）における跡地活用の位置付けは。

答 跡地活用は「商業活性化」の核事業であり、周辺地域への商業的な波及効果を期待している。

問 「うるおいと活力のあるガーデンシティ」にふさわしい景観を有した跡地活用をすべきでは。

答 景観基本計画の重点地区であり、全体計画の段階から意識して取り組む。

問 跡地をどのように活用したいと考えているか。

答 「田原市の顔」として、市全体のにぎわい創出に繋がる土地活用等を図っていくべきで、今後も多くの方から意見を頂き、公益的な利用も考慮し検討したい。

津波避難施設までの避難路の確保は

ブロック塀改修・建物耐震化の補助制度や農業用重油タンクの状況確認を行っていく

一問一答方式



杉浦 文平 議員
無所属クラブ

■津波避難施設の整備について

問 津波避難施設の概要は。

答 避難困難地域である堀切・小中山両地区に津波避難マウンドを建設する。

問 マウンド（津波避難施設）は具体的なイメージのつかみづらい施設だが、地域への啓発活動は。

答 地域に出向き、津波の正しい情報と、マウンドの建設概要などを具体的にわかりやすく説明する。

問 マウンド完成後の平常時の管理は。

答 地域の憩いの場として利用していただき、日々の管理は地元自治会にお願いする。

問 津波避難施設までの避難路の整備は。

答 ブロック塀改修は、小中山3件、堀切4件の補助

金利用実績があった。建物耐震改修は、診断をもとに小中山8棟、堀切6棟で実施された。今後も、地域と一緒に耐震化・減災化を進める。

問 浸水想定区域内の農業用重油タンクの数は。

答 小中山地区で132基、堀切地区で419基が区域内に存在する。

問 農業用重油タンクの立ち入り検査は可能か。

答 危険がなければ検査は行っていなかったが、浸水想定区域内は現地調査を行い、不備な施設は使用者に改善をお願いする。



命山（袋井市）